

令和元年度 第〇回国土技術政策総合研究所 研究評価委員会分科会（第〇部会）

評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間 令和2年度～令和4年度

研究代表者

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、国総研にて実施すべきか事前評価を行う。  
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等  
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等  
 【有効性】新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献等

<評価の結果>

評価項目	評価指標	コメント
必要性と有効性を踏まえた目的と研究内容の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	
効率性を踏まえた研究内容の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	

<総合評価>

※上記を踏まえ、実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに○を記載願います。

①実施すべき / ②一部修正して実施すべき / ③再検討すべき

※研究を実施するに当たっての留意事項等、その他特筆すべき点がございましたら記入願います。

令和元年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）  
事後評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間 平成28年度～平成30年度

担当研究部

<評価の視点と項目>

研究課題毎に、必要性、効率性、有効性の観点を踏まえ、「研究の実施方法と体制の妥当性」「目標の達成度」について事後評価を行う。

【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等

【効率性】計画・実施体制の妥当性等

【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）	コメント
研究の実施方法 と体制の妥当性	1 適切であった 2 概ね適切であった 3 やや適切でなかった 4 適切でなかった	
目標の達成度	1 目標を達成することに加え、 目標以外の成果も出すことができた 2 目標を達成できた 3 あまり目標を達成できなかった 4 ほとんど目標を達成できなかった	

その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。  
（目標設定の妥当性、研究成果の活用方針、科学的・技術的意義等）

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。

令和元年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）  
追跡評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間 平成25年度～平成27年度

担当研究部

<評価の視点と項目>

研究課題毎に、「成果の反映状況」、「事後評価時での課題への対応」の観点を踏まえ追跡評価を行う。

【成果の反映状況】

- ・ 成果の直接的な反映状況
- ・ 成果の直接的な反映以外の波及効果や副次的効果、次の研究への貢献度  
(副次的効果とは、主な効果に付随して発生する効果、本来の目的として期待されたものではない二次的な影響)
- ・ (成果の活用目標を十分達成出来なかった場合) 達成できなかった原因の考察・整理

【事後評価時での課題への対応状況】

- ・ 事後評価時で提示された主な意見に対する対応状況

<評価の結果>

評価項目	評価指標（何れかに○を記載願います。）
成果の反映状況	1 十分に成果が反映されている。 2 概ね成果が反映されている。 3 あまり成果が反映されていない。 4 ほとんど成果が反映されていない。
コメント	
※その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。	

※評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄のいずれかに○を付けていただき、その補足としてコメントをご記入願います。評価項目の評価の他に必要に応じて「その他特筆すべき点」にご記入願います。